

平和聖日/戦争・原爆永眠者記念礼拝  
説教『すべての人が憐みを受けるために』

山根 眞三 師  
司会 神 笠 千 愛さん  
奏 楽 白 石 百合子さん  
招 詞 マルコ福音書12章33～34節  
主 の 祈 ( 5 6 4 )  
讚 詠 5 4 6  
交 読 詩 編 詩 1 2 2 編  
祈 禱  
讚 美 歌 21 - 1 4 1  
使 徒 信 条 ( 5 6 6 )  
聖 書 ローマ人への手紙11章25～35節  
説 教 (口語訳248頁、新共同訳291頁)

『すべての人が憐みを受けるために』

祈 禱  
瞑 想 (戦争・原爆永眠者を覚えて)  
讚 美 歌 4 2 0  
聖 餐 式 (讚美歌21-81)  
献 金  
感 謝  
報 告  
頌 栄 5 4 3  
祝 禱 / 後 奏

次週の礼拝(三位一体後第十一主日礼拝)

説教『神に義とされた者はどこにいる?』  
ルカ福音書18章9節～14節  
招詞エペソ書2章4～10節/交読詩篇145編  
讚美歌546、21-160、271(sec)、544

礼 拝 当 番  
今週 4 日 司会 神笠さん 献金 剛家さん  
次週 11日 司会 根角さん 献金 吉丸さん  
会堂清掃奉仕 8月9日(金)  
午後4時～ 有 志

本日の集会

★教会学校 午前9時45分～  
★コーヒータム 礼拝後～  
それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

★広島平和記念式典 8月6日(火)幼稚園では  
8時前に登園し、TVで平和記念式典に参加しま  
す。祈りを共にしましょう。  
★8.6キリスト者平和の祈り 8月6日(火)14:00  
～15:30 会場:日本福音ルーテル広島教会  
被爆証言『核』『戦争』もない未来を願って」  
日本基督教団八千代台教会員 小谷孝子さん  
★8.6キリスト者平和の集い 8月6日(火)20:00  
被爆証言日本基督教団八千代台教会員 小谷孝子さん  
於:平和記念公園原爆供養塔前

※めぐみ幼稚園夏期保育 8月6日(火)～9日(金)  
※めぐみ幼稚園礼拝 8月8日(木)10:30  
★長崎平和記念式典 8月9日(金)ナガサキを  
覚え共に祈りましょう。

次週以降のスケジュール等

★『障害者と教会』問題を考える集い委員会  
8月11日(日)14:00～ 於:広島西部教会  
★第57回「敗戦の日・追悼と平和を求める集会」  
8月18日(日)14:00～16:00  
会場:広島流川教会  
講演『核被害者と共に生きる』森瀧春子さん  
●レコードコンサート 8月18日(日)13:00～15:30  
ブラームス 交響曲第4番ホ短調作品98  
ハイドンの主題による変奏曲作品  
ベートーヴェン 交響曲第7番イ長調作品92  
\$広島拘置所教誨奉仕 8月21日(水)13:30～16:00  
施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	1	1
主日礼拝	2	10	12

◇今週の説教要旨(平和聖日・戦争/原爆永眠者記念礼拝)

『すべての人が憐みを受けるために』ローマ書11:25～35  
オリンピックの勝ち負けで世界の多くの人が一喜一憂している。これは心から大事にしたいものだ。オリンピックの原則は開催中には一切の戦いを中止し、競技と応援に専念することを実現するためだ。それにも拘わらず戦いが実行されていることに強い怒りと同時に、平和への深い祈りに生きたいもの。平和を求めているのではないかとまで考えてしまうほどにイスラエルの行動は私たちから見れば大きな問題がある。長崎は平和記念式典にイスラエルは招待しないが、広島は招待しているようだ。イスラエルはある意味でいつの時代においても、私たちの問題、課題のようだ。使徒パウロにとってもそうだった。イスラエル民族の選民意識は他民族にとって大きな問題。神が選んだのは自分達だけだと。他民族は異邦人でしかない。そんな意識こそが神の前での決定的な罪そのものなのだが。彼らは人々の救い、人々への神の愛はどうしてもよかったのだろうか。弱い存在の人々へのイエスの愛は、そのような選民思想を超克した。イスラエルの選びは彼らが優れているからではなく、弱くて力のない民だったから。そんな選民の根源を示したのがイエス。そんなイエスは赦せなかった。抹殺するしかなかった。イエスは拒絶されるしかなかった。イスラエルのその拒絶こそが異邦人への神の愛の実現だったのだ。イスラエル民族が忘れてしまった選びの根拠、恵みはいまや異邦人である私たちに実現したのだ。現代社会においてすらイスラエルはその自意識を誇っているのだが、かれらのそのような姿を通して私たちはイエスの十字架の死と復活に示され、実現された神の選びと愛を心から感謝したい。神の選びと愛は神からの一方的な恵みであり、愛なのだ。すべての人が愛され、選ばれていることを知ることがどれだけ大きな喜びとなるだろうか。あなたも、私も。